

[17] エネルギー史研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/13821>

出版情報：エネルギー史研究：石炭を中心として. 17, 2002-03-25. 九州大学附属図書館付設記録資料館産業経済資料部門
バージョン：
権利関係：

九州大学石炭研究資料センター編集

エネルギー史研究

——石炭を中心として——

No. 17

2002.3

- 第二次大戦後におけるわが国石炭産業の技術導入
——炭鉱技術者浅井一彦と財団法人石炭総合研究所の
活動に焦点をあてて——草野 真樹 (1)
- 明治前期、肥前松浦川の石炭輸送.....東定 宜昌 (31)
- 選定坑区制の導入と炭坑投機家
——石炭商中原屋の事例から——河村 輝樹 (47)
- 本洞、藤棚炭鉱売却後の麻生商店の炭鉱業経営
——明治40年から第一次大戦後期まで——新鞍 拓生 (73)
- 南満洲鉄道株式会社撫順炭鉱の経営活動
——創業から第一次世界大戦期までを中心として——庾 炳 富 (123)
- 第一次大戦後における石炭需要の変化と炭鉱経営の対応
——粉炭需要・供給の拡大について——北 澤 満 (159)
- 第一次大戦後における足尾銅山の労働社会と労働組合.....土井 徹平 (179)
- 戦間期日本における炭鉱企業の統計的観察.....長廣 利崇 (211)
- 「筑豊近代化大年表」誕生記.....深町 純亮 (247)
- 書 評
児玉清臣著『石炭の技術史 摘録(上・下巻)』.....草野 真樹 (253)